

# 技術センターの第二期中期事業計画を策定しました

〈事業期間:平成27～29年度〉

京都府中小企業技術センターでは、事業を進める上で目指すべき方向性と、それを実現するための具体的な取り組みを明らかにするための道しるべとして平成19年に「中期事業指針」を策定しました。指針は平成24年に見直しを行い、あらためて第一期中期事業計画を策定しましたが、その際に当初の基本理念、基本方針、行動指針を、技術センター職員が業務運営や事業の実施、日々の技術支援を行うときや考えるときに常に照らし合わせる判断基準とする「センター憲章」に位置づけました。

## 技術センター憲章 (H24.3 策定)

- 基本理念: 私たちは、京都府産業を支える中小企業の技術力向上を支援し、企業活動と地域経済の発展に貢献します。
- 基本方針: 期待に応えられる、気軽にご利用いただける、支援機関や大学と連携する、質と量を向上する
- 行動指針: お客様本位、現場視点、自己革新、社会的責任

このたび第一期中期事業計画の見直しを行い、次の三ヵ年の計画を策定いたしましたのでその概要をお知らせいたします。

## 第二期中期事業計画の重点

これからも中小企業の皆様にとって「頼りになる中技セン」であり続けられるよう、課題解決力、技術支援力、情報発信力を更に強化します。

そのために

所内のスローガン

組織の力で個人の技術支援力を高め、個人の力で組織の支援力を高めていこう!

- ★ 各人の技術支援や相談業務を、組織としてフォローしバックアップしていく体制を確立します。
- ★ センターで培った各人の支援力を、後輩や同僚に還元し伝授していく体制を確立します。

## 三つの力を強化し、一つの心地よさを整備します

### 1 課題解決力の強化 — 気さくで頼りになる中技セン —

[主な取り組み]

- ①ヒト(職員の技術力) ②モノ(機器や設備)
- ③ネットワーク(他の機関や大学との連携)そして④時間軸(相談後のフォローアップなど)を加えた「四次元支援」を行います
- 職員間での相談事例研究の場を定期的に持ち、振り返り共有することで各人の課題解決力を高め、技術支援品質を向上します
- 機器活用のスキルを高め技能を継承することで、幅の広い安定したサービスを提供します

### 2 技術支援力の強化 — 支援の基礎体力を底上げ —

[主な取り組み]

- 日進月歩のものづくり企業の課題解決のために、新技術の確立や実用化、業界や市場動向の把握、現場課題解決など、性格に応じた研究メニューの拡充に努め、技術支援力(基礎体力)を常に向上させます
- 自ら試行錯誤して生きた知見を生み出し、それを活かした技術支援を行います
- 府内外での技術展示会などで研究成果を発表し、普及を図るとともに支援力を確かなものにします

### 3 情報発信力の強化 — 存在と実績をしっかりと宣伝 —

[主な取り組み]

- センターの情報発信の意義と方針を全職員が共有し、各人が自分の業務をお客様目線の魅力的な記事にしてお伝えします
- センターの具体的な支援内容が分かる「中技セン活用事例集」を作成し発信することで、センター活用のイメージをお持ちいただけます
- 「中技センを知らない」「利用したことがない」という企業さん向けのコンテンツを作成し発信します

### 4 心地よく利用できる環境や条件の整備 — 小さな不便をこつこつ解消して大きな満足に —

[主な取り組み]

- そういうものだと思い込んでいたり、仕方がないと端から諦めているような制度や手続きについて、あらためて向き合い、改善を図ります
- 日頃から感じていた不便や無駄、改善の小さな芽にしっかりと向き合い、改善や解消を図ります

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp